

国民民主 こくみんみんしゅ
Press
 KOKUMIN MINSHU PRESS
 国民民主党 国民民主プレス 編集部
 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-3Nagatacho GRID 4F
 TEL : 03-3593-6229 MAIL : info@new-kokumin.jp H P : new-kokumin.jp

号外
 2023年3月

【連絡先】国民民主党茨城県第5区総支部(浅野さとし事務所)

国会事務所 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館406号室 TEL : 03-3508-7231 FAX : 03-3508-3231	日立事務所 〒317-0071 茨城県日立市鹿島町1-11-13 TEL : 0294-21-5522 FAX : 0294-21-3014
---	--

公式サイト <https://asanosatoshi.com/>




※撮影のためにマスクは外しています

衆議院議員
浅野さとし

茨城県知事
大井川和彦

2023年新春特別企画として、本年も大井川和彦 茨城県知事との特別対談を実施させていただきました。対談では、新型コロナウイルス感染症の対策、物価高騰対策、子ども・子育て世代への支援などに取り組んだ2022年を振り返り、今後のまちづくりの展望についての思いを語っていただきました。

2022年の振り返り

「やればできる」ことを証明できた

浅野 昨年も国内外では様々な出来事や政界の動きがありましたが、一年を通じて、大井川知事の印象に残っている出来事や、知事が特に注力した政策、手応えのあった取り組みなどがあればご紹介いただけますか。

大井川 新型コロナウイルスについては、ワクチン接種をはじめとする感染症対策やウイルスの特性の変化などにより、現在では重症化率が大幅に低下し、コロナと共生し社会経済活動の正常化をめざす段階へと、対策も大きな

転換期を迎えています。

一方で、昨年は、ロシアによるウクライナ侵略や世界的な物価高騰、歴史的な円安などの誰も想定しえなかった出来事が相次いで発生するなど、私たちは、過去の延長線上に未来は存在しない、まさに先の見えない「非連続の時代」の只中にあります。

こうした状況では、常に挑戦する気概を持ち、今、何が求められているのかを自ら考え、仮説を立て、新しいことに果敢に挑戦し、未来を切り拓いていくことが極めて重要です。

このため、「挑戦」「スピード感」「選択と集中」を基本姿勢として、コロナ対策や経済対策を速やかに実施するとともに、困難な課題も先送りすることなく取り組んできました。



例えば、かんしょでは、圧倒的なシェアの獲得に向け、かんしょトップランナー産地拡大事業に取り組み、農家1戸当たりの所得が8割増加するとともに、荒廃農地の再生面積が全国第1位となりました。

また、農産物の輸出額は就任前と比べ約8倍となっていますが、更なる飛躍をめざし、約3年ぶりに、カナダやシンガポールなど、海外でのトップセールスを実施してきました。

さらに、本県がこれまで力を入れてきた企業誘致や、つくばエクスプレス（TX）沿線の宅地分譲などの取組みが好調であることに加えて、コロナの感染拡大の影響により、テレワークなどの新たな働き方が普及する中、本県が持つ魅力が評価され、他県からの転入者の対前年増加数が全国第1位となったところ です。

改めて、茨城は「やればできる」ことを証明できた1年であったと考えています。

浅野 知事の攻めの姿勢で一定の成果を掴んだ一年だったことがよく分かりました。私も近年はコロナ禍によって人々の働き方や住環境への考え方が変わったと感じます。茨城県がこれからますます注目されるためにも、特産品やインフラ整備などハード面の対策のみならず、公的サービスの充実や景観整備のような、「住みごち」を改善するソフト面での対策にも今後注目をさせていただきたいと思っています。

新型コロナ対策について

医療提供体制の確保に万全を期す

浅野 コロナ禍は4年目に入りました。県民へのワクチン接種も一定程度進み、県内環境としてもコロナ予防と感染時対策が定着している状態だと言えると思いますが、今後に向けてどのような課題意識を持たれていますか。

また、コロナ禍では大人だけでなく子どもたちも我慢を続けてくれています。学校行事の延期・中止などで友達と接する機会が減ったという声も聞きますが、コロナ禍でも子どもたちがのびのびと成長するために、茨城県として行なっている事や考えていることがあれば教えてください。

大井川 先ほども申し上げましたが、コロナについては、「未知のウイルス」として恐れる段階から脱却し、ウィズコロナを見据え、メリハリの利いた感染対策を講じながら社会経済活動の正常化を図る段階へと、大きな転換点を迎えていると考えています。

一方で、真に医療が必要な方に対し、適切な医療を提供できる体制を整えておくことは当然必要です。昨年9月には、発熱外来のひっ迫を緩和するため、全国に先駆けて発生届の対象の限定化に踏み切ったほか、今月5日から臨時の医療施設を設置するなど、常に先手先手で対策を講じてきたところであり、引き続き、医療提供体制の確保に万全を期してまいります。

学校現場においては、この3年間、臨時休業や部活動の全面禁止、給食における黙食の実施など様々な制限が課されてきました。私は、こうした制限により、子どもたちの人間関係形成能力の発達に影響が出てしまうことを懸念しています。

学校給食の黙食については、昨年11月の国の通知を受け、各市町村に対し、適切な換気の確保などの措置を講じた上で、給食の時間における会話を行なうことも可能との通知を发出了しました。

一日も早く、子どもたちが友達と楽しい時間を共有できるよう、学校生活をはじめ、社会経済活動の正常化に向け、しっかりと取り組んでまいります。

浅野 おっしゃる通り、子どもたちが校舎で過ごす時間は限りあるものです。

食事の時間はもちろん、運動会や修学旅行、音楽祭など、多くの学校行事も様々な制約の中で運営されていますが、一つひとつが子どもたちにとってはかけがえない機会です。ぜひ、知事の引き続きのご尽力に期待しています。

物価高騰対策について

効果的な支援になるよう スピード感を持って取り組む

浅野 昨年来、資源価格や物価が急上昇しています。4月以降は電気料金の値上げも予定されており、現在は多難の時代と言えると思いますが、茨城県としてはどの様に県民生活や県内経済を支えていく考えでしょうか。

大井川 今般のエネルギー価格高騰と、食料品などの生活必需品や様々な製品などの値上げにより、県民生活や企業の経済活動に大きな影響が生じていると認識しています。

このため、県では、国と歩調をあわせて地方創生臨時交付金などを積極的に活用し、早急に効果的な対策が取れるよう、補正予算による対応を図ってきました。

まず、生活者への支援としては、世帯収入が少ない家庭ほど生活必需品の支出割合が高く、物価高騰の影響を受けている状況にあることから、家計負担を軽減するため、低所得の子育て世帯を対象とした給付金を支給しています。

また、事業者への支援としては、コロナ禍からの回復や価格転嫁の遅れなどにより、多くの事業者が苦境に立たされている現下の厳しい状況などを踏まえ、経営環境が特に悪化している事業者を対象とした応援金を支給しています。

一方で、こうした状況を新たな成長の機会と捉え、その影響に左右されにくいビジネスモデルへの転換などに取り組む事業者を対象とした融資制度を拡充するなど、主体的に経営の成長を図る事業者の挑戦を後押ししています。

先月2日には、国において、総合経済対策の裏付けとなる第2次補正予算が成立したところであり、県としてもこうした国の動きを踏まえながら、支援を必要とする方や求める支援内容などをしっかりと把握し、効果的な支援につなげられるよう、スピード感を持って取り組んでまいります。

浅野 今年も年初から、食品をはじめとする多くの生活必需品が値上がりを予定しています。為替の動向にも注目が集まっていますが、引き続き、県内経済がこれ以上疲弊しないよう、県としても最大限のご支援をお願い致します。

つくばエクスプレス(TX)の県内延伸について

3月中に延伸方面を決定予定

浅野 昨年は、TXの県内延伸に向けた動きが加速し、延伸ルートについても盛んに議論が行なわれていますが、TXをあまり利用しない地域に住む方々にとっては、延伸のメリットや課題が分かりにくい話題でもあります。現状や主な論点は何なのか分かりやすく教えていただけますか。

大井川 県では、人口減少が急速に進む中、TX沿線地域の活力を全县に波及させるため、つくば駅からの延伸の実現をめざしています。

この県内延伸の実現に向けては、鉄道会社をはじめ、国や関係都県など関係者間での合意形成が不可欠であり、協議・調整に向け、まずは、県として延伸方面を1つに定め、計画を具体化していくことが必要です。

そのため、今年度は、新たな県総合計画に位置付けた「土浦」「茨城空港」「水戸」「筑波山」の4方面案の1本化に向け、検討に必要な概算事業費や需要予測などの調査を行なっています。

先月12日には、学識者などで構成する第三者委員会を立ち上げ、1回目の委員会を開催したところであり、延伸方面選定のための4つの判断基準として、「東京圏からの新たな人の流れの創出」「つくばと水戸の二大都市圏の交流拡大」「自動車からの転換に向けた公共交通のサービスレベルの向上」「TX延伸を起爆剤とした本県未来の更なる飛躍」を示しました。

2月までに、第三者委員会として最適な延伸方面に



ついて提言書をまとめていただき、その後、パブリックコメントなどを経て、3月中旬に、県として延伸方面を決定する予定です。

T Xの県内延伸は、「延伸方面が決まれば、ただちに実現する」といったものではありません。費用負担に関する合意形成や採算性の確保など、困難な課題を一つひとつ解決しながら、実現に向けて粘り強く挑戦していきたいと考えています。

浅野 よく分かりました。T Xが開通したことで、沿線上の地域が大きく発展したように、現在検討されている延伸事業が実を結べば、茨城には更なる可能性が広がると期待が膨らみます。個人的には、延線到達地を終着点とせず、より広域的な周遊性が確保されるような計画がつけられることを期待したいと思っています。私もT X延線の成功に向けて最大限協力していきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願い致します。

新産業廃棄物最終処分場について

周辺の生活環境に配慮して進める

浅野 日立市に建設が予定されている新産業廃棄物最終処分場について、現在、茨城県と日立市の間で詳細調整が行なわれている状況だと思っておりますが、やはり日立市民の中には環境や安全などの面で不安を持つ方がいることも事実です。市民の不安を払拭するために茨城県とし

て検討している内容を教えていただけますか。

大井川 新産業廃棄物最終処分場の整備に当たりましては、昨年4月に策定した施設整備の基本計画に基づき、安全性を最優先とし、周辺環境に影響を与えることのないよう、基本設計を進めています。

新処分場においては、国の基準を上回る厳しい廃棄物の受入基準を設定しているほか、廃棄物中に浸透した雨水が地下へ浸透しないよう多重の遮水構造を採用し、浄化処理後に下水道へ放流することとするなど、安心・安全な施設づくりに万全を期しています。

また、新処分場への搬入ルートとなる新設道路の整備や、工事期間中の交通安全対策についても、周辺的生活環境に極力配慮しながら進めてまいります。

加えて、新処分場の整備や運営を進めていくためには、地域住民の方々のご理解とご協力が不可欠であると認識しており、施設周辺的生活環境の改善や地域の振興を目的とした事業を、日立市と連携し、実施していくこととしています。

昨年末には、県道の交通安全対策や環境学習施設の設置、総額24億円の地域振興費の拠出などを柱とした地域振興事業の方向性について、取りまとめたところです。

今後とも、安全で信頼性の高い最終処分場の整備に向けて、全力で取り組んでまいります。

浅野 よろしくお願い致します。私のところには、地元住民の皆様から様々な意見や要望が届いています。今後の取り組みの中でも地元意見をより一層注視していただきたいと思っております。私からも適宜知事にお伝えしていきたい



と思いますので、ぜひ引き続きの連携をお願いします。

子ども・子育て世代への支援について

各ステージにおいて 切れ目のない対策を講じる

浅野 茨城県内で生まれた赤ちゃんの数は令和3年度に17,000人を切り、記録のある昭和40年以降最低数を更新しました。全国的にも同様な傾向が見られています。子育て世代が子どもをつくらない理由の1位は、子育てにお金がかかりすぎる事だというアンケート結果も見たことがあります。子どもや子育て世代への支援の充実に向けた想いがあればお聞かせください。

大井川 県では、新たな県総合計画においても、「日本一、子どもを産み育てやすい県」の実現を掲げ、結婚、妊娠、出産、子育ての各ステージにおいて、切れ目のない対策を講じています。

特に、未婚化や晩婚化の進展が、少子化の最大の要因との考えのもと、昨年度から、「いばらき出会いサポートセンター」にAIマッチングシステムを導入するとともに、コロナ禍にも対応したオンラインお見合い機能を追加しました。それらの取組みにより、会員登録数、お見合い・交際件数がともに2倍以上に増加するなど、着実に成果が出てきています。

また、妊娠、出産、子育てにつきましても、これまでに、第3子以降の3歳未満児の保育料完全無償化をはじめ、妊産婦・子どもに対する医療費助成制度の拡充など、全国的にも手厚い支援制度を実現しています。加えて、いばらき保育人材バンクを設置するなど、保

育士の確保に努めた結果、今年度には、待機児童数を実質ゼロにすることができました。

今後とも、「茨城で産んでよかった」、「茨城で産み育てたい」と、言っていただける県をめざし、積極的に取り組んでまいります。

浅野 子育て支援策については、茨城県内もかなり充実させている自治体が多く期待をしています。一方、自治体が地域事情をふまえながら創意工夫を長年にわたって重ね続けてきた分、その制度内容が多様化・複雑化しており、子育て世代に伝わりにくいというジレンマがあるようにも感じています。ぜひ、情報の分かりやすさや見つけやすさに着目した工夫が進んでいくことにも期待しております。

2023年の抱負

「県民幸福度No.1」の実現に挑戦

浅野 最後に、2023年の見通し・抱負についてお聞かせください。

大井川 本年は、ウィズコロナに向け、社会経済活動の正常化の動きが進展する一方で、世界的な金融引き締めの影響などにより、経済の先行きの不透明感が強まること懸念されます。そうした中、コロナ対策や経済対策につきましては、県民の命と健康、そして暮らしを守るため、引き続き、機動的に対応してまいります。

また、先ほど申し上げました「非連続の時代」を乗り越えていくためには、新しいことに果敢に挑戦する姿勢を貫いていく必要があります。私は、こうした姿勢を





県民の皆様としっかりと共有していくことで、本県の潜在能力を更に大きく花開かせ、輝かしい未来を掴み取ることができるものと確信しています。

本年は、先ほど申し上げましたトップセールスで目の当たりにしたシンガポールの経済成長など、海外に眠るチャンスを本県に取り込むため、「グローバルに打って出る」をキャッチフレーズに、積極的に海外展開に取り組みたいと考えています。

また、茨城デスティネーションキャンペーンをはじめ

め、第46回全国育樹祭やG7茨城水戸内務・安全担当大臣会合などで多くの方が来県されることから、この絶好の機会を活かし、本県の魅力を国内外に発信してまいります。今後とも、前例にとらわれず、また、失敗を恐れず、果敢に挑戦し、「県民幸福度No.1」の実現に挑戦してまいります。


浅野 多岐にわたって、大変分かりやすく答えていただきありがとうございました。本年もよろしくお願い致します。

浅野さとし

プロフィール

《略歴》

- 1982年9月生まれ
- 2005年3月 青山学院大学工学部卒
- 2007年3月 青山学院大学大学院
工学部研究科修了(理学修士)
- 2007年4月 株式会社日立製作所 日立研究所入社
- 2013年8月 日立製作所労働組合研究所支部執行委員
- 2015年9月 衆議院議員大畠章宏秘書
- 2017年10月 衆議院議員初当選(第48回衆議院選挙)
- 2021年10月 衆議院議員2期目当選(第49回衆議院選挙)



📡 各種SNSで 📡

浅野さとしの最新情報発信中!!

<LINE>



<YouTube>



地域の情報や
話題のニュース
についてわかり
やすく解説する
「浅野さとし
公式チャンネル」
はコチラから!

<Twitter>



Facebook・Instagramもチェック!

要チェック!!

<h3 style="text-align: center; margin: 0;">日立事務所</h3> <p style="margin: 0;">〒317-0071 茨城県日立市鹿島町 1-11-13 友愛ビル1階 TEL 0294-21-5522 FAX 0294-21-3014 Mail: asano@asano-office.net</p>	<div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 10px; font-size: 1.2em; font-weight: bold;">ご意見・ご要望</div>	<h3 style="text-align: center; margin: 0;">国会事務所</h3> <p style="margin: 0;">〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1 衆議院第一議員会館 406号室 TEL 03-3508-7231 FAX 03-3508-3231 Mail: g17398@shugiin.go.jp</p>
---	---	---